

市立釧路総合病院の新棟建設についてお知らせします

問合せ 市立釧路総合病院新棟建設推進室 (☎41-6121)

市立釧路総合病院は、1984(昭和59)年に建設して以来、数度の改修により外観は維持してきましたが、24時間365日止まることなく稼働しており、施設設備の老朽化が進んでいます。また、施設の面積が狭く最新の大型医療機器の導入が困難な状況であることなど、さまざまな課題を抱えています。

当院は、釧路・根室地域の中核となる地方センター病院であり、これらのさまざまな課題を解消し、将来にわたり地域における役割を果たしていくため、新棟建設等事業の基本設計をとりまとめましたのでお知らせします。



外観イメージ



1階エントランス(春採湖モール)



患者総合支援センター



外来ブロック受付



一般病棟スタッフステーション

●新病院(新棟)の主な構成

- B1** 「薬剤部門」や「厨房」など物品の搬入が多い供給部門を配置
- 1F** 多くの患者利用が想定される「患者総合支援センター」と24時間体制で重症患者を受入れる「救命救急センター」を配置
- 2-3F** 受付のブロック化により効率的な運用を可能とした「外来」を配置
- 4F** 術後患者の負担軽減に配慮し「手術室」と「ICU」を隣接配置
- 5F** 1階救命救急センターから専用エレベーターにより直接搬送可能な「救命救急病棟」を配置
- 6F** 新興感染症等のパンデミック時にも対応可能な「感染病棟」を配置
- 7F以上** 「一般病棟」を配置

●新病院の概要

新棟規模	地上12階、地下1階 (鉄骨造(一部鉄筋コンクリート造)免震構造)
延床面積	62,127平方メートル (内訳) 新築 41,490平方メートル 改修 10,868平方メートル 既存 9,769平方メートル
病床数	(一般413床、救命救急16床、ICU12床、NICU3床、未熟児回復6床、結核10床、感染4床、精神50床、緩和ケア21床)

●想定事業スケジュール

- 実施設計 23(令和5)～24(令和6)年度
- 建設工事 24(令和6)～27(令和9)年度
- 新棟開院 27(令和9)年度

●基本設計の詳細は、市立釧路総合病院ホームページ
 ☎ <http://www.kushiro-cghp.jp/gaiyo/sintou/> をご覧ください。



釧路市生活支援体制整備事業

「生活支援コーディネーター」をご存知ですか？

問合せ 市役所介護高齢課高齢福祉担当 (☎23-5185)

生活支援コーディネーターは、高齢者が住み慣れた地域で生活していくことを支えるため、地域住民や町内会などのさまざまな団体・関係機関と協力して、生活支援や介護予防などの助け合いの仕組みづくりに取り組んでいます。

市では、16(平成28)年度から市内各地域包括支援センターに「生活支援コーディネーター」を配置し、地域にどのような困りごとがあるのか、その解決方法について地域の方々と話し合いを行っています。また、釧路市住民等主体の通所サービス(おたっしやサービス)など、地域の方々が集まることのできる「通いの場」の立ち上げや運営支援などを行っています。

このような思いをお持ちの方、
生活支援コーディネーターにご相談ください！

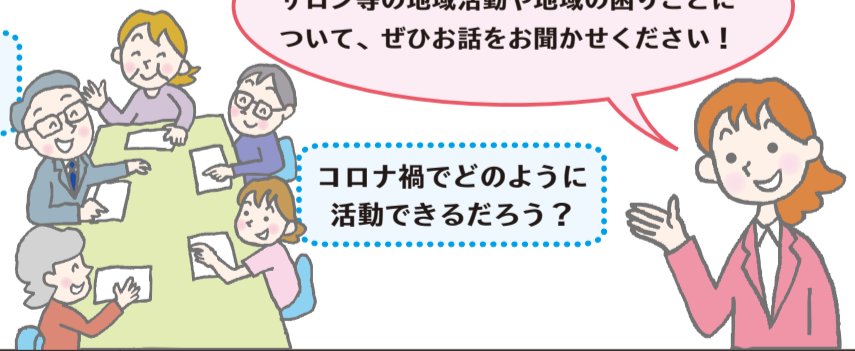
- 「通いの場」に参加したい
- 「通いの場」を作りたい



- 地域の困りごとの相談にのって欲しい
- ボランティア活動に興味がある

支え合いの地域づくりに向けて、サロン等の地域活動や地域の困りごとについて、ぜひお話をお聞かせください！

コロナ禍でどのように活動できるだろう？



【担当地域の地域包括支援センターへお問い合わせください】

施設名	住所	電話番号	担当地域
西部地域包括支援センター	昭和190番4462(老健くしろ内)	55-2666	鳥取、大楽毛地区(昭和、鶴野など)
中部北地域包括支援センター	文苑4-65-2(ふみぞの東陽ビルI 1階)	36-1233	愛国地区(美原、芦野、文苑などを含む)
中部南地域包括支援センター	堀川町8-43	24-1102	鉄北、橋北地区
東部北地域包括支援センター	鶴ヶ岱1-10-46	42-0600	橋南地区、春採5丁目、7丁目、8丁目の一部
東部南地域包括支援センター	春採4-10-15(望洋ふれあい交流センター内)	42-8222	春採地区(興津、桜ヶ岡、益浦などを含む)
阿寒地域包括支援センター	阿寒町中央1-4-1(阿寒町行政センター内)	66-1234	阿寒町全域
音別地域包括支援センター	音別町中園2-119-1(音別町福祉保健センターほほえみ内)	01547-9-5252	音別町全域